

HLA-WG ではこれまでに 21 件の研究が提案された。H25 年は 1 回の定例会議の開催に加えてメーリングリスト上でも活発な討論が行われ、メーリングリストの発言件数は既に 922 件に達している。H25 年になってから学会発表、論文発表数が増加し、国際専門誌に既に 5 つの論文が accept されている(この他に Source-WG との共同研究が 1 本 accept 済)。データクリーニング用の R および Stata のスクリプトは毎年のデータセットにあわせて更新しながら造血細胞移植学会のホームページで公開しており、全 WG で利用することが出来る。これらのツールを活用して、今後はさらに多くの研究が発展していくことが期待できる。

## 18. ドナー別(血縁・非血縁)・移植細胞ソース別(骨髄・末梢血・さい帯血)による移植成績

### ① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
田中 正嗣	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
加藤 俊一	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
鋤塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	先端医療・臨床研究支援センター
永田 泰之	浜松医科大学	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
藤田 直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
薬師神 公和	神戸大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
内田 直之	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
瀬尾 幸子	Fred Hutchinson CRC	Infectious Disease Division
熱田 由子	名古屋大学大学院医学系研究科	
坂口 大俊	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
谷口 修一	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科

今井 陽俊	札幌北楡病院	内科
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科
三田村 真	サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社	
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
田淵 健	がん・感染症センター都立駒込病院	小児科
角南 一貴	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
松本 公一	国立成育医療研究センター	腫瘍科
三原 英嗣	愛知医科大学病院	血液内科
屋部 登志雄	日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	検査部検査開発課
長藤 宏司	久留米大学病院	血液・腫瘍内科
木村 文彦	防衛医科大学校病院	血液内科
石山 謙	東京都立大塚病院（がん・感染症センター 都立駒込病院）	輸血科（血液内科）
今橋 伸彦	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科学
南谷 泰仁	東京大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
栗田 尚樹	筑波大学附属病院	血液内科
宮尾 康太郎	安城更生病院	血液・腫瘍内科

## ② 承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む)

18-1	「非血縁骨髄移植と非血縁臍帯血移植の比較研究（若年成人）」 PI：寺倉精太郎
学会発表・論文業績：	
18-2	「年齢、体重、性別、疾患別にみたドナー別・ソース別の造血細胞移植実施状況と成績比較」 PI：加藤俊一
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：	
18-4	「非血縁者間移植の至適ドナーの検討を目的とした国際共同研究」 PI：鍛塚八千代
学会発表：	
1. 39th Annual Meeting of the European Group for Blood and Marrow Transplantation, 7-10 April 2013, London, UK.	
2. 第75回日本血液学会学術集会（平成25年10月11日～13日）札幌	
論文業績：Kuwatsuka Y, Atsuta Y, Horowitz MM, Inagaki J, Kanda J, Kato K, Koh K, Zhang MJ, Eapen M; Donor/Source Working Group and GVHD Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation and the Center for International Blood and Marrow Transplant Research. Graft-versus-host disease and survival after cord blood transplantation for acute leukemia: a comparison	

of the Japanese versus Caucasian population. <i>Biology of Blood and Marrow Transplantation</i> , 2014, doi: 10.1016/j.bbmt.2014.01.020. [Epub ahead of print]	
18-6	「急性白血病、慢性白血病急性転化および骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植における移植ソースの影響および化学療法との比較」 PI: 田中正嗣
学会発表: 第75回日本血液学会学術集会(平成25年10月11日~13日)札幌 論文業績: 投稿中	
18-7	「小児領域におけるドナー別(血縁・非血縁)・移植細胞ソース別(骨髄・臍帯血)による移植成績」 PI: 渡邊修大
学会発表: 論文業績:	
18-8	「非血縁者間臍帯血移植とGVH方向1抗原以内不適合血縁者間移植の移植成績の比較」 PI: 諫田淳也
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)	
18-9	「ABO血液型不適合が同種移植成績に与える影響—移植細胞ソースによる違い」 PI: 木村文彦
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
18-10	「重症再生不良性貧血に対する血縁者間造血細胞移植成績の国際比較」 PI: 木村文彦
学会発表: 18th Congress of European Hematology Association, 13-16 June 2013, Stockholm, Sweden 論文業績:	
18-11	「非血縁者間骨髄移植におけるドナー年齢と移植成績およびその結果に基づいた臍帯血移植との比較」 PI: 瀬尾幸子
学会発表・論文業績:	
18-12	「HLA一致血縁ドナーからの成人造血腫瘍に対する骨髄破壊的前処置による同種造血幹細胞移植 移植ソース 骨髄と末梢血幹細胞の比較」 PI: 長藤宏司
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:	
18-13	「HLA適合血縁者間骨髄移植・末梢血幹細胞移植後の急性GVHD—人種および移植源による比較」 PI: 諫田淳也
学会発表・論文業績:	

### ③ 会議開催記録(2013年1月-12月)

日時	場所	会議内容
1月14日	国立がん研究センター	研究進捗状況の報告
3月7日	石川県立音楽堂	研究進捗状況の報告 今後の活動方針

### ④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで) (277)回

## ⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

本ワーキンググループはすべての疾患WGと縦系で、すべての合併症WGと横系で関係している。このためWG単独での研究を計画するのが困難であり、その研究申請は少ない。一方3つ以上の疾患をまとめて生存率をエンドポイントとした解析する場合は単独の研究として認められ、非血縁者間における臍帯血と骨髄の比較が高齢者、成人、小児で進められてきた(18-1, 18-6, 18-7)。また血縁における骨髄と末梢血幹細胞の比較も研究され本邦においては海外と異なり末梢血幹細胞ソースからの移植の成績は不良であるということを確認した(18-12)。

また18-2で開始された「年齢、体重、性別、疾患別にみたドナー別・ソース別の造血細胞移植実施状況と成績比較」は、本邦における適切なドナーソースの供給体制において必要な情報をもたらした。さらに「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律(移植推進法)」にあるドナーリクルートの方向性を出して行くための大変な重要な解析であり、本研究を細分化したもののうちドナー年齢による移植成績の解析が進み(18-11)、性別、体重別の解析の申請が待たれる。これと同様な研究である「ABO血液型不適合が同種移植成績に与える影響—移植細胞ソースによる違い」(18-9)もすでに解析結果が公開されている。本ワーキンググループで行うべき解析の一つが人種によるドナーソースによる移植成績の解析である。日本と欧米における小児白血病領域における臍帯血移植の成績(18-2)、再生不良性貧血に対する骨髄移植の成績(18-10)、急性白血病における骨髄・末梢血幹細胞の移植成績の違い(18-13)などの解析は、本邦の特徴である遺伝学的同一性を背景とした本邦の良好な移植成績への新たな解釈を与える可能性がある。

「移植推進法」により国民に対してわかりやすい情報の発信が求められることになり、適切な移植ソースの選択についてより詳細な解析が必要となる。すでに「非血縁者間臍帯血移植とGVH方向1抗原以内不適合血縁者間移植の移植成績の比較」(18-6)の研究が論文化されたが、今後も「臍帯血」と「DR血清1座不適合非血縁骨髄」の比較など、患者のみならず医療者も知りたい情報を、ソース別WGと、HLAWGの両ワーキンググループで解析を進めていくことが期待される。

以上のようにソース別WGでの研究テーマは多くあり、積極的に他のWGとの調整を取り必要なデータを出して行きたい。

## 19. GVHD 予防法と GVHD

### ① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
木藤 克之	滋賀医科大学附属病院	無菌治療部
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
大島 久美	広島大学病院	血液内科
仲宗根 秀樹	Stanford University School of Medicine	Division of Blood and Marrow Transplantation
稲本 賢弘	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科

東梅 友美	ミシガン大学がんセンター	血液・腫瘍内科 BMT プログラム
綿本 浩一	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
内田 直之	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
中根 孝彦	大阪市立大学医学部附属病院	血液内科・造血細胞移植科
瀬尾 幸子	<b>Fred Hutchinson CRC</b>	<b>Infectious Disease Division</b>
酒井 リカ	(独) 神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
高見 昭良	金沢大学附属病院	血液内科
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
桑原 英幸	横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
森 毅彦	慶應義塾大学医学部	血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
永田 泰之	浜松医科大学	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科
宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
豊嶋 崇徳	北海道大学病院	血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
梅田 雄嗣	京都大学大学院医学研究科	発達小児科学
小林 真一	防衛医科大学校病院	血液内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
今橋 伸彦	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科学
近藤 忠一	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
西森 久和	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	血液・腫瘍・呼吸器内科学
伊藤 歩	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
大中 貴史	小倉記念病院	血液内科
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科

森下 剛久	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科
松岡 賢市	岡山大学病院	血液・腫瘍内科

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

19-1	「シクロスポリンおよびタクロリムスによる GVHD 予防法の比較検討」 PI：酒井リカ
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：投稿中	
19-2	「血液悪性腫瘍に対する同種造血細胞移植における抗リンパ球グロブリンの臨床的検討」 PI：加藤剛二
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）。	
論文業績：	
19-3	「前処置別の急性 GVHD のリスク因子解析」 PI：仲宗根秀樹
学会発表：BMT Tandem meetings 2014	
論文業績：	
19-5	「既存データを用いた年齢別の急性 GVHD 発症後の予後の検討」 PI：中根孝彦
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：	
19-6	「急性 GVHD に対するステロイド一次治療の成績」 PI：村田誠
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：Murata M, Nakasone H, Kanda J, Nakane T, Furukawa T, Fukuda T, Mori T, Taniguchi S, Eto T, Ohashi K, Hino M, Inoue M, Ogawa H, Atsuta Y, Nagamura-Inoue T, Yabe H, Morishima Y, Sakamaki H, Suzuki R. Clinical factors predicting the response of acute graft-versus-host disease to corticosteroid therapy: an analysis from the GVHD Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. <i>Biol Blood Marrow Transplant.</i> 2013; 19(8): 1183-9.	
19-7	「GVHD と TMA の関連性の検討」 PI：吾郷浩厚
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：	
19-8	「既存データを用いた臓器別慢性 GVHD の発症様式、発症頻度、予後の解析」 PI：諫田淳也
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：Kanda J, Nakasone H, Atsuta Y, Toubai T, Yokoyama H, Fukuda T, Taniguchi S, Ohashi K, Ogawa H, Eto T, Miyamura K, Morishima Y, Nagamura-Inoue T, Sakamaki H, Murata M. Risk factors and organ involvement of chronic GVHD in Japan. <i>Bone Marrow Transplant.</i> 2013 (in press)	
19-9	「一元化管理事業データに基づく造血幹細胞移植後の閉塞性細気管支炎の解析」 PI：仲宗根秀樹
学会発表：済（WG研究業績一覧参照）	
論文業績：Nakasone H, Kanda J, Yano S, Atsuta Y, Ago H, Fukuda T, Kakihana K, Adachi T, Yujiri T, Taniguchi S, Taguchi J, Morishima Y, Nagamura T, Sakamaki H, Mori T, Murata M; GVHD Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. A case-control study of bronchiolitis obliterans syndrome following allogeneic hematopoietic stem cell	

transplantation. <i>Transpl Int.</i> 2013; 26(6): 631-9.	
19-10	「GVHD と GVL 効果に対するドナーとレシピエントの性別の影響」 PI: 大島久美
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績:	
19-11	「再発リスク症例における GVHD 発症と GVL 効果の相関に関する研究」 PI: 東梅友美
学会発表・論文業績:	
19-17	「ガンマグロブリン予防投与の有無が GVHD 等の造血幹細胞移植成績に及ぼす影響:後方視的解析」 PI: 高松博幸
学会発表・論文業績:	
19-18	「同種造血細胞移植後の急性 GVHD 発症時期が移植予後に与える影響についての検討」 PI: 内田直之
学会発表・論文業績:	
19-19	「小児急性骨髄性白血病同種移植症例におけるシクロスポリン持続点滴法と分割静注法の有効性と安全性の比較検討」 PI: 梅田雄嗣
学会発表: JSHCT2014 第 36 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 26 年 3 月 7 日-3 月 9 日) 沖縄 論文業績:	

### ③ 会議開催記録 (2013 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2013/1/14	国立がん研究センター中央病院	各研究課題の進捗状況の報告、二次調査を要する研究の進め方についての議論など
2013/7/7	名古屋第一赤十字病院	各研究課題の進捗状況の報告、TRUMP 調査項目変更の提案など

### ④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2013 年 12 月末時点まで) ( 661 ) 回

### ⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

同種移植における GVHD の制御は移植の成否の鍵であり、当 WG ではその責務を果たすため、発足当初よりメンバー間で活発かつオープンな議論がなされています。各研究課題は精力的に進められており、既に、急性 GVHD に対するステロイド一次治療の有効率および有効率に影響を与える因子を明らかにした研究 (村田ら)、慢性 GVHD の発症率および発症率に影響を与える因子を明らかにした研究 (諫田ら)、慢性 GVHD の中でも特に生命予後に与える影響が大きい閉塞性細気管支炎の発症危険因子を明らかにした研究 (仲宗根ら) は論文化に至っております。今年度に新たに加わったメンバーからも早速新しい研究が提案されており、また得られた結果に基づいて TRUMP 調査項目変更の提案も行っています。今後、より一層の成果を発信すべくメンバー一同鋭意努力するところであります。引き続き、新メンバーの加入を歓迎いたします。

## 20. GVHD 以外の移植関連合併症

### ① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
中沢 洋三	信州大学医学部附属病院	小児科
小池 隆志	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
桑原 英幸	横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
薬師神 公和	神戸大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
今橋 真弓	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
森 有紀	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
鬼塚 真仁	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
三原 英嗣	愛知医科大学病院	血液内科
林 良樹	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院	小児科学講座
大島 久美	広島大学病院	血液内科
仲宗根 秀樹	Stanford University School of Medicine	Division of Blood and Marrow Transplantation
長村 登紀子	東京大学医科学研究所附属病院	セルプロセッシング・輸血部
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
鈴木 律朗	名古屋第二赤十字病院	薬物療法内科
土居崎 小夜子	名古屋大学医学部附属病院	小児科
松本 公一	国立成育医療研究センター	腫瘍科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
藤田 直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
加藤 元博	東京大学医学部附属病院	無菌治療部（小児科）
坂口 大俊	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター 血液腫瘍科
谷口 修一	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
石田 文宏	信州大学医学部	保健学科 病因・病態検査学
前田 猛	倉敷中央病院	血液内科



竹中 克斗	九州大学病院	血液腫瘍内科
木村 文彦	防衛医科大学校病院	血液内科
高田 覚	群馬県済生会前橋病院	血液内科
太田 秀一	札幌北楡病院	内科
黒澤 彩子	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
緒方 正男	大分大学医学部附属病院	血液内科
藤井 伸治	岡山大学病院	輸血部
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
石井 一慶	関西医科大学附属枚方病院	血液・腫瘍内科
小林 真一	防衛医科大学校病院	血液内科
井上 明威	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
重松 明男	北海道大学病院	血液内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
高野 久仁子	大分大学医学部附属病院	血液内科
中野 伸亮	公益財団法人慈愛会今村病院分院	血液内科
池邊 太一	大分県立病院	血液内科
植木 俊充	長野赤十字病院	血液内科
青木 淳	がん・感染症センター都立駒込病院	血液内科
藤 重夫	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
沖中 敬二	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
伊藤 歩	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
大中 貴史	小倉記念病院	血液内科
森下 喬允	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座	血液腫瘍内科
森下 剛久	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科
栗田 尚樹	筑波大学附属病院	血液内科

② 承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む)

20-1	「造血幹細胞移植後サイトメガロウイルス感染症の発症頻度、危険因子、予防法に関する研究」PI：西田徹也
学会発表：西田哲也ほか、第35回日本造血細胞移植学会総会（平成25年3月7日-9日）、石川県立音楽堂ほか	
20-2	「非血縁者間移植患者におけるウイルス感染症の検討」PI：森有紀
学会発表：第75回日本血液学会総会（2013年10月11日-13日）、札幌（JSH2013） 論文業績：	

20-3	「同種造血幹細胞移植後の出血性膀胱炎（HC）に対する標準的予防法・早期治療法の確立に向けた抗ウイルス薬のHC発症抑制効果に関する検討」 PI：中沢洋三
<p>学会発表：：済（WG研究業績一覧参照）</p> <p>論文業績：</p>	
20-4	「造血幹細胞移植後合併症と長期予後に与えるHCV既感染の影響」 PI：仲宗根秀樹
<p>学会発表：済（WG研究業績一覧参照）</p> <p>論文業績：Nakasone H, Kurosawa S, Yakushijin K, Taniguchi S, Murata M, Ikegame K, Kobayashi T, Eto T, Miyamura K, Sakamaki H, Morishima Y, Nagamura T, Suzuki R, Fukuda T.</p> <p>Impact of hepatitis C virus infection on clinical outcome in recipients after allogeneic hematopoietic cell transplantation.</p> <p>Am J Hematol. 2013;88(6):477-84.</p>	
20-5	「同種造血幹細胞後の深在性真菌症に関する検討」 PI：大島久美
<p>学会発表：済（WG研究業績一覧参照）</p> <p>論文業績：</p>	
20-6	「一元管理事業データに基づく同種造血幹細胞移植後の器質化肺炎（COP/BOOP）の解析」 PI：仲宗根秀樹
<p>学会発表：済（WG研究業績一覧参照）</p> <p>論文業績：Nakasone H, Onizuka M, Suzuki N, Fujii N, Taniguchi S, Kakihana K, Ogawa H, Miyamura K, Eto T, Sakamaki H, Yabe H, Morishima Y, Kato K, Suzuki R, Fukuda T.</p> <p>Pre-transplant risk factors for cryptogenic organizing pneumonia/bronchiolitis obliterans organizing pneumonia after hematopoietic cell transplantation.</p> <p>Bone Marrow Transplant. 2013;48(10):1317-23.</p>	
20-7	「Hematopoietic Cell Transplantation Specific Comorbidity Index (HCT-CI)を用いた同種造血幹細胞移植後の予後予測に関する研究」 PI：横山洋紀
<p>学会発表：済（WG研究業績一覧参照）</p> <p>論文業績：</p>	
20-8	「同種造血幹細胞移植後の類洞閉塞症候群の発症割合、リスク因子ならびに治療法に関する研究」 PI：薬師神公和
<p>学会発表：55<sup>th</sup> ASH annual meeting（2013年12月7-10日）、ニューオリンズ（ASH2013） 第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-9日）、沖縄（JSHCT2014）</p> <p>論文業績：</p>	
20-9	「同種造血幹細胞移植後の微小血管症の発症割合、リスク因子、予後に関する研究」 PI：名和由一郎
<p>学会発表：済（WG研究業績一覧参照）</p> <p>論文業績：</p>	
20-10	「小児および成人における移植後非感染性肺合併症に関する検討」 PI：鬼塚真仁
<p>学会発表：済（WG研究業績一覧参照）</p> <p>論文業績：</p>	

20-11	「造血幹細胞移植後ウイルス感染の造血器悪性腫瘍再発に及ぼす影響に関する研究」 PI：竹中克斗
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
20-12	「小児に対する同種造血幹細胞移植後の生着不全に対する再移植の予後」 PI：加藤元博
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：Kato M, Matsumoto K, Suzuki R, Yabe H, Inoue M, Kigasawa H, Inagaki J, Koh K, Hashii Y, Tauchi H, Suminoe A, Kikuta A, Sakamaki H, Kawa K, Kato K, Fukuda T. Salvage allogeneic hematopoietic SCT for primary graft failure in children. Bone Marrow Transplant. 2013;48(9):1173-8.	
20-13	「同種造血幹細胞移植前の生活習慣病（糖尿病と肥満）が予後に与える影響について」 PI：高野久仁子
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
20-14	「骨髄非破壊的移植における生着前感染症」 PI：重松明男
学会発表・論文業績：	
20-15	「同種造血幹細胞移植における血流感染症の発症、リスク因子、予後に関する解析」 PI：井上明威
学会発表：第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-9 日），沖縄（JSHCT2014） 論文業績：	
20-16	「血小板生着不全のリスク因子と予後に及ぼす影響」 PI：木村文彦
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照） 論文業績：	
20-17	「同種造血幹細胞移植患者における侵襲性肺炎球菌感染症の特徴」 PI：沖中敬二
学会発表：第 36 回日本造血細胞移植学会総会（平成 26 年 3 月 7 日-9 日），沖縄（JSHCT2014） 論文業績：	
20-18	「小児および成人における移植後非感染性肺合併症に関する検討：二次調査」 PI：鬼塚真仁
学会発表・論文業績：	
20-19	「同種造血幹細胞移植前の BMI と予後の関連について」 PI：藤重夫
学会発表：第 75 回日本血液学会総会（2013 年 10 月 11 日-13 日），札幌（JSH2013） 論文業績：	
20-20	「移植後再発に対する 2 回目同種移植における HCT-CI の重要性についての検討」 PI：藤重夫
学会発表・論文業績：	
20-21	「本邦における同種造血幹細胞移植前 HCT-CI scoring system の再構築」 PI：藤重夫
学会発表・論文業績：	

### ③ 会議開催記録（2013 年 1 月-12 月）

日時	場所	会議内容
7 月 6-7 日	名古屋第一赤十字病院	進捗状況の確認、新規研究課題についての議論

1月13-14日	国立がん研究センター	進捗状況の確認、新規研究課題についての議論
----------	------------	-----------------------

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで)  
(355)回

⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

造血幹細胞移植後のGVHD以外の合併症は、感染症や臓器障害など広範囲におよび、移植関連死亡の主要な原因となっている。本WGでは、臨床的に意義のあるエビデンスを発信するために活動している。国内・海外の学会で多数の発表を行っており、3報の英文論文を報告している。TRUMP内のGVHD以外の合併症に関する情報は限られており、これまでに二次調査を含む研究を2つ行った。今後も新規の研究案を募集し、活動性を高めていきたい。

21. 晩期合併症とQOL

① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 山下 卓也	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
谷口 修一	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
廣川 誠	秋田大学医学部附属病院	第三内科
藤澤 信	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
森本 克	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
堀越 泰雄	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
熱田 由子	名古屋大学大学院医学系研究科	
黒澤 彩子	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
井上 雅美	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
河野 彰夫	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
田淵 健	がん・感染症センター都立駒込病院	小児科
森 有紀	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
石川 隆之	神戸市立医療センター中央市民病院	血液内科
三原 英嗣	愛知医科大学病院	血液内科
酒井 リカ	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
大島 久美	広島大学病院	血液内科
仲宗根 秀樹	Stanford University School of Medicine	Division of Blood and Marrow Transplantation
桑原 英幸	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科

稲本 賢弘	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
塩原 正明	松本歯科大学病院	小児科
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
石田 也寸志	愛媛県立中央病院	小児科
早川 晶	神戸大学医学部附属病院	小児科
瀬戸 愛花	岡崎市民病院	血液内科
初見 菜穂子	群馬県済生会前橋病院	血液内科
佐藤 篤	宮城県立こども病院	血液腫瘍科
西森 久和	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	血液・腫瘍・呼吸器内科学
福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科

### ② 承認研究の進捗状況(2013年1月-12月 ※JSHCT2014を含む)

<b>21-4</b>	「同種造血幹細胞移植における晩期死亡と死因の解析」 PI：熱田由子
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）	
論文業績：執筆中	
<b>21-7</b>	「同種造血幹細胞移植後の晩期再発に関する検討」 PI：山下卓也
学会発表：Takuya Yamashita et al.55th ASH Annual Meeting, Dec 7-10, 2013, New Orleans, USA 山下卓也他 第36回日本造血細胞移植学会総会（平成26年3月7日-9日）沖縄コンベンションセンター	
論文業績：執筆中	
<b>21-8</b>	「自家造血幹細胞移植における晩期死亡と死因の解析」 PI：飯田美奈子
学会発表：	
論文業績：執筆中	

### ③ 会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2013/01/13 13:00-14:00	国立がん研究センター中央病院	1. 成人・小児 QOL 横断的観察研究の進捗状況報告 2. 同種移植における晩期死亡と死因解析研究の進捗状況報告 3. WG 責任者交代について
2013/03/20 12:00-16:00	安保ホール (名古屋市)	1. QOL 横断的観察研究の進捗状況報告および解析計画について 2. 同種移植における晩期死亡と死因解析研究に関する報告 3. 現行研究課題の見直しと新規研究課題の提案について
2013/07/07 13:00-14:00	名古屋第一赤十字病院	1. QOL 横断的観察研究の進捗状況と研究実施上の問題点について 2. QOL 横断的観察研究の解析計画の提示 3. 同種移植における晩期死亡と死因解析研究に関する検討 4. 自家移植における晩期死亡と死因解析研究の提案 5. 同種移植後の晩期再発研究の提案

### ④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで）

## ⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

晩期合併症とQOLワーキンググループ(WG)では、移植後長期生存患者におけるQOLの横断的調査を実施する下記の2つのプロトコールを立案し、昨年度から研究を開始した。

- ① 本邦の同種造血幹細胞移植後長期生存成人患者におけるQuality of Lifeに関する調査研究
  - ② 本邦の自家および同種造血幹細胞移植後長期生存小児患者におけるQuality of Lifeに関する調査研究
- 両研究は日本造血細胞移植学会臨床研究委員会より学会主導研究として位置づけられ、多数の施設の協力を得て継続中である。2013年12月31日現在の調査票受領数は、①において患者902、医師864(目標症例数300)、②において患者246、医師280(目標症例数400)である。現在、当WGでは当該研究にて集積されるデータの解析計画を準備中であり、当該研究終了後には速やかにその結果を公表し、移植後患者のQOL向上に資することを目指している。

当WGでは、現在、TRUMPデータを用いた後方視的研究として3課題が遂行されており、本年度4演題の学会発表を実施した。現有のTRUMPデータにおける晩期合併症やQOLに関する情報は極めて限られているが、当WGは、今後も新規課題を含めた後方視的研究を推進し、移植後晩期合併症の適切な管理と長期生存者のQOLの向上の礎となる情報の発信に努めたい。

## 2.2. ドナーの安全性(骨髄・末梢血)

## ① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 小寺 良尚	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
山下 卓也	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
三田村 真	サーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社	
政氏 伸夫	北海道大学大学院 保健科学研究院	病態解析学分野
塩原 正明	松本歯科大学病院	小児科
田地 浩史	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
安井 昌博	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
小原 明	東邦大学医療センター大森病院	小児科学講座
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
尾関 和貴	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
角南 一貴	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
矢部 みはる	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科
一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
薬師神 公和	神戸大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科

増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
前田 猛	倉敷中央病院	血液内科
飯田 浩充	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	細胞療法科
小林 直樹	札幌北榆病院	内科
矢部 普正	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科

## ② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

22-1	「Safety and risk of allogeneic peripheral blood stem cell donation: results of nation-wide consecutively prereistered 3,264 family donor survey in comparison with bone marrow donation in Japan」 PI：小寺良尚
<p>学会発表：済（「V-6.血縁ドナー登録データ利用業績」参照）</p> <p>論文業績：Kodera Y, Yamamoto K, Harada M, Morishima Y, Dohy H, Asano S, Ikeda Y, Nakahata T, Imamura M, Kawa K, Kato S, Tanimoto M, Kanda Y, Tanosaki R, Shiobara S, Kim SW, Nagafuji K, Hino M, Miyamura K, Suzuki R, Hamajima N, Fukushima M, Tamakoshi A, Halter J, Schmitz N, Niederwieser D, Gratwohl A.</p> <p>PBSC collection from family donors in Japan: a prospective survey. Bone Marrow Transplant. 2014;49(2):195-200.</p>	
22-2	「同種造血細胞ドネーションの更なる促進のために」 PI：小寺良尚
<p>学会発表：済（「V-6.血縁ドナー登録データ利用業績」参照）</p> <p>論文業績：</p>	
22-3	「血縁造血幹細胞ドナーの声」 PI：小寺良尚
<p>学会発表・論文業績：済（「V-6.血縁ドナー登録データ利用業績」参照）</p>	
22-5	「小児骨髄移植ドナーの安全性」 PI：矢部みはる
<p>学会発表：矢部みはる他 第35回日本造血細胞移植学会総会（平成25年3月7日-3月9日），石川県立音楽堂他</p> <p>論文業績：なし</p>	
22-6	「小児末梢血幹細胞移植ドナーの安全性に関する検討」 PI：塩原正明
<p>学会発表：なし（平成26年1月25日 ドナー委員会承認）</p> <p>論文業績：なし</p>	

## ③ 会議開催記録（2013年1月-12月）

日時	場所	会議内容
2013年3月8日	石川県立音楽堂	研究進捗状況の報告，新規研究課題の検討
2013年7月6日	名古屋第一赤十字病院	研究進捗状況の報告，新規研究課題の検討

## ④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで） （100）回

## ⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

1. 血縁骨髄・末梢血ドナーフォローアップ事業 10年間（2005年4月～2015年3月）の総括的研究。
2. 血縁・非血縁共通ドナー手帳の英訳と学会 Web への掲載（APBMT、WBMT 向けとして）に関する研究。
3. 血縁・非血縁ドナーのための適格性に関する国際基準の策定に関する研究。
4. 血縁小児ドナーのための適格性の策定に関する研究。
5. 血縁ドナーアンケートの総括に関する研究。

## 23. 海外ドナーからの移植

### ① WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 一戸 辰夫	広島大学病院	血液内科
飯田 美奈子	愛知医科大学	造血細胞移植振興寄附講座
三田村 真	サーモフィッシュヤーサイエンティフィック株式会社	
東梅 友美	ミシガン大学がんセンター	血液・腫瘍内科 BMT プログラム
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
木村 文彦	防衛医科大学校病院	血液内科

### ② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

23-1	「海外非血縁ドナーからの造血幹細胞移植の成績に関する検討 ～国内非血縁ドナーからの骨髄移植・さい帯血移植との matched-pair 解析」 PI：一戸辰夫
学会発表：済（WG 研究業績一覧参照）。	
論文業績：	

### ③ 会議開催記録（2012年1月-12月）

日時	場所	会議内容
		2013年には開催いたしませんでした。

### ④ メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から2013年12月末時点まで） （199）回

### ⑤ WGの今後の活動方針・抱負など

WG 発足以来、海外ドナーからの移植成績に影響を及ぼす因子の検討や国内非血縁ドナーとの成績の比較などをテーマとして、APBMT に2年連続で研究成果を報告して参りました。今後は残されている課題として、海外ドナーから移植を実施した患者さんの HLA ハプロタイプの特徴を検討する研究を新たに開始する予定としています。また、海外ドナーから実施される新規の移植がきわめて少なくなっている現状から、他の WG との共同研究の可能性を模索していきたいと考えています。



## WG 研究業績一覧

研究番号	課題名	PI	学会発表	論文	業績番号
1-1	小児 AML における第 2 寛解期再移植例の成績と再移植の意義	多賀崇	JSH2012		
1-2	非寛解期小児 AML における移植成績	岡本康裕	JSHCT2012		
1-3	ダウン症候群に合併した急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績	村松秀城	JSPHO2011	Pediatr Blood Cancer .(in press)	WGP 1-1
1-4	小児 AML に対する自家移植の解析	坂口大俊	JSHCT2012		
1-5	小児・思春期 AML 第一、第二寛解期に対するアロ造血幹細胞移植前処置の影響	石田宏之	JSHCT2012		
1-7	t(8;21)および inv(16)異常を有する小児急性骨髄性白血病に対する造血幹細胞移植の成績	村松秀城	JSHCT2013		
2-1	AML 患者に対する RIST の有用性に関する研究-骨髄移植と末梢血幹細胞移植の比較-	金森平和	ASH 2012		
2-3	成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による自家造血幹細胞移植の治療成績	山下卓也	JSHCT2013		
2-4	成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績	山下卓也	JSH2012 ,他		
2-5	初回寛解導入不応・再発非寛解期の急性骨髄性白血病に対する同種移植の予後解析	横山洋紀	JSH2012		
2-6	各染色体分類における急性骨髄性白血病に対する同種移植の予後の比較	横山洋紀	JSHCT2012		
2-7	急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植後の再発リスク因子解析	矢野真吾	ASH2011 ,他		
2-8	AML 移植後再発に対する DLI の有用性と予後予測因子の解析	高見昭良	JSH2012		
2-12	AML-M6/M7 に対する造血幹細胞移植	石山謙	JSHCT2012, 他		
2-23	成人 AML に対する iv Busulfan を用いた骨髄破壊的移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績	山下卓也	JSHCT2013, 他		
2-24	成人 AML に対する iv Busulfan を用いた骨髄非破壊的移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績	山下卓也	JSHCT2013, 他		
3-2	小児急性リンパ性白血病に対する骨髄破壊的移植と骨髄非破壊的移植の比較検討	加藤剛二	JSHCT2012		
3-4	同種移植後再発小児 ALL における同種再移植後の予後に関する検討	加藤元博	JSHCT2012	BMT 2012;47:1307	WGP 3-1
3-5	非寛解期小児 ALL における移植成績	岡本康裕	JSHCT2012		
3-6	小児・思春期 ALL 第二寛解期に対するアロ造血幹細胞移植前処置の影響	石田宏之	JSHCT2012		

研究 番号	課題名	PI	学会発表	論文	業績 番号
3-12	小児急性白血病の移植前処置における経口 ブスルファンと静注ブスルファンの比較	加藤元博	JSH2013,他	BBMT 2013;19:1690	WGP 3-2
4-1	高齢者 ALL 患者に対する RIST の有用性と 予後因子に関する研究	金森平和	ASH2011	BMT 2013;48:1513	WGP 4-1
4-2	Impact of donor sources on allogeneic stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia in first complete-remission.	西脇聡史	ASCO2012,他	Ann Oncol 2013;24:1594	WGP 4-2
4-3	急性リンパ球性白血病に対する軽減前処置 造血細胞移植に関する後方視的解析および 骨髄破壊的前処置移植との比較	田中淳司	ASH2012	BMT 2013;48:1389	WGP 4-3
4-4	成人フィラデルフィア染色体陰性急性リン パ性白血病における第一寛解期自家移植と 同種移植の治療成績の比較	加藤春美	ASH2012		
5-2	慢性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞 移植の成績 (CML 成人共同研究)	村松秀城	JSHCT2012		
6-1	慢性骨髄性白血病 (CML) の同種移植の幹 細胞別の移植成績の比較	大橋一輝	JSH2012,他		
7-1	治療関連による小児および若年者の骨髄異 形成症候群 (MDS) /急性骨髄性白血病 (AML) 症例に対する造血幹細胞移植治療 の検討	小嶋靖子	JSHCT2012		
7-4	小児骨髄異形成症候群に対する同種造血幹 細胞移植において G-CSF の予後に与える影 響	長谷川大 一郎	JSH2011		
7-5	小児一次性骨髄異形成症候群に対する至適 移植法の開発に関する研究	長谷川大 一郎	EBMT2013		
8-1	同種造血幹細胞移植が行われた 50 歳以上の MDS 患者における移植成績の検討	青木一成	ASH2012		
8-3	成人 MDS に対する臍帯血移植	石山謙	EHA2013,他		
8-4	慢性骨髄単球性白血病に対する同種造血幹 細胞移植の有効性の検討	糸永英弘	ASH2013		
9-2	小児における稀なリンパ腫の造血幹細胞移 植症例の検討	小林良二	International Symposium on Childhood, Adolescent and Young Adult Non -Hodgkin's Lymphoma 2012	BJH 2012;159:88	WGP 9-1
9-4	小児未分化大細胞型リンパ腫に対する造血 細胞移植成績	深野玲司	JSH2013		

研究 番号	課題名	PI	学会発表	論文	業績 番号
9-6	小児成熟 B 細胞性腫瘍に対する造血細胞移植成績	藤田直人	International Symposium on Childhood, Adolescent and Young Adult Non-Hodgkin's Lymphoma 2012		
10-1	濾胞性リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究	伊豆津宏二	ASH2011,他		
10-2	悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植の有効性の検討 — 一元化データを用いた解析 —	吾郷浩厚	JSHCT2012		
10-3	節外性 NK/T 細胞リンパ腫、鼻型 (ENKL) の移植成績	鈴木律朗	ICML2011,他		
10-4	リンパ腫の組織型別・病期別移植成績	伊豆津宏二	ICML2011,他		
10-5	ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討	賀古真一	JSHCT2012		
10-6	移植前 B 型肝炎、C 型肝炎ウイルスの感染状態が悪性リンパ腫の移植成績および有害事象に及ぼす影響	加藤春美	JSH2013,他		
10-7	高齢者びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究	千原大	ICML2013	BBMT (in press)	WGP 10-1
10-8	縦隔(胸腺)大細胞型 B 細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究	近藤英生	ICML2013		
10-9	中枢神経原発リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究	近藤英生	EHA2013		
11-1	フルダラビン導入が非血縁骨髄移植の成績に与える影響	矢部普正	JSHCT2012		
11-2	小児再生不良性貧血における HLA 一致血縁者間骨髄移植と免疫抑制療法の比較	吉田奈央	JSH2011,他		
11-3	小児再生不良性貧血におけるドナー選択—HLA 一致血縁ドナー、不一致血縁ドナー、非血縁ドナーの比較	小島勢二	JSH2011,他		
11-4	小児の HLA 一致同胞間移植における治療成績	菊地陽	JSHCT2012	BMT 2013;48:657	WGP 11-1
11-7	小児再生不良性貧血における骨髄移植後ドナータイプ造血不全の解析	吉田奈央	ASH2012,他		
13-1	ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討	石田高司	JSH2011	Blood 2012;120:1734	WGP 13-1
13-2	成人 T 細胞性白血病/リンパ腫に対する臍帯血移植の後方視的検討	加藤光次	JSH2012,他		
13-3	ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討、GVHD の意義について	石田高司		BBMT 2013;19:1731	WGP 13-2
14-2	造血幹細胞移植を施行した多発性骨髄腫での予後因子解析	高松博幸	EHA2013,他		

研究 番号	課題名	PI	学会発表	論文	業績 番号
15-2	造血幹細胞移植を併用する大量化学療法を施行したユーイング肉腫ファミリー腫瘍の治療成績	小川淳	JSPHO2011		
15-3	小児肝芽腫に対する大量化学療法の有用性の検討	山本将平	JSPHO2011		
15-4	神経芽腫に対する同種臍帯血移植の検討	高橋義行	EBMT2012,他		
15-6	網膜芽細胞腫に対する造血幹細胞移植の検討	小林良二	JSPHO2011		
15-7	横紋筋肉腫の造血幹細胞移植症例の検討	小林良二	JSPHO2011		
15-8	ウィルムス腫瘍および類縁疾患に対する造血幹細胞移植の検討	小林良二	JSPHO2011		
16-3	Diamond-Blackfan 貧血に対する同種造血細胞移植の成績	矢部普正	JSHCT2012,他		
16-4	Fanconi 貧血に対する同種造血細胞移植の成績	矢部みはる	JSHCT2012,他		
16-9	副腎白質ジストロフィーに対する同種造血細胞移植	加藤剛二	JSHCT2013,他		
17-3	非血縁者間骨髄移植における年代別のアレル不適合の影響	神田善伸	JSH2012	BJH 2013;161:566	WGP 17-1
17-6	Reduced intensity conditioning を用いた非血縁者間骨髄移植における HLA 不一致の影響	横山寿行	JSHCT2013		
17-8	KIR リガンド不適合が移植成績に及ぼす影響の検討	田中淳司	EHA2013	Blood Cancer J (in press)	WGP 17-2
17-11	T 細胞除去を用いない HLA 不一致親子間移植においてレシピエントとドナーとの血縁関係が移植成績に与える影響の検討	一戸辰夫	ASH2012,他		
17-12	非血縁者間臍帯血移植における HLA 不適合度と移植成績	熱田由子	EBMT2012,他	Haematologica 2013;98:814	WGP 17-3
17-13	非血縁者間臍帯血移植における GVH 方向 HLA 不適合あるいは HVG 方向 HLA 不適合が移植成績に及ぼす影響	諫田淳也	JSH2012	BBMT 2013;19:247	WGP 17-4
17-14	非血縁者間骨髄移植における年代別の高リスクアレル不適合の影響	神田善伸		BBMT (in press)	WGP 17-5
17-15	第一寛解期急性白血病に対する同種移植における、ドナー選択に関する臨床決断分析—GVH 方向 HLA 一抗原不適合血縁者と HLA8/8 アレル適合非血縁者の比較	諫田淳也	JSHCT2013,他		
18-2	年齢、体重、性別、疾患別にみたドナー別・ソース別の造血細胞移植実施状況と成績比較	加藤俊一	JSPHO2012		
18-4	非血縁者間移植の至適ドナーの検討を目的とした国際共同研究	鍛塚八千代	EBMT2013,他	BBMT (in press)	WGP 18-2
18-6	急性白血病、慢性白血病急性転化および骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植における移植ソースの影響および化学療法との比較	田中正嗣	JSH2013		